



双葉のいのち

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/baba/>

11月号

最適な学びの形を探って

校長 町田 大樹

10月16日(土)、上の宮中学校校庭にて運動会を開催いたしました。当日は朝に小雨も降りましたが、演技や徒競走をしている間は雨も降らず、子どもたちは力いっぱい表現することができました。保護者の皆様には子どもたちに温かい声援をたくさん送っていただき、ありがとうございました。子どもたちの満足そうな笑顔を見て、今年も実施できてよかったと改めて思いました。10月4日(月)の通常登校再開からほぼ2週間の短い準備期間でしたが、運動会を目標に学校全体に活気が生まれたように思います。休み時間も教室や校庭で演技を練習する姿、校庭で友達とかけっこをする姿、6年生の希望者による応援練習、実行委員の活動、その様子からそれぞれが運動会に向けて力を発揮しているのが伝わってきました。馬場っ子の熱い思いを感じ、できることを精一杯頑張るひたむきな姿に心を打たれました。

保護者の皆様にはスムーズな運営のために、様々なご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、受付及び見守り活動としてPTA役員、にこにこ防犯隊、馬場レンジャーの皆様にもご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。事後アンケートでは子どもたちの頑張りを大いにほめていただくコメントと共に、「リレーを見たかった」、「保護者の参観人数を増やしてほしい」というご意見等もいただきました。少しでも規模を広げた運動会を実施することは私たちの願いでもあります。しかし、これまでにない市内での感染状況、また変異株の影響で子どもへの感染も広がっている中で、活動や参観を制限せざるを得ませんでした。いただいたご意見については後日、まとめたものでお知らせするとともに、今後の教育活動に活かしてまいります。

今回は新たな試みとして、タブレット端末も運動会練習で活用しました。ご家庭で演技を練習する姿も多く見られたことと思います。1人1台配付されたタブレット端末は新たな学習の可能性を示しています。教室で調べ学習や意見交換のために活用する機会も増えています。5年生では社会科見学の代わりにオンライン工場見学を行いました。リアルタイムで日産工場と接続し、スタッフの方と話をしたり、工場施設や自動車生産のしくみ等を学習したりしました。また、6年生のあるクラスではふたばの学習で提灯づくりを進める中で、茨城県にお住いの専門家からオンラインでアドバイスをもらう場面もありました。

新しいツールが入り、学校での学びの形も変わってきています。しかし、あくまで学ぶ主体は子どもです。どんな道具も、子どもたちの「学びたい」「人と関わりたい」という思いがなくては活用できません。運動会で見せてくれたような子どもたちの熱い思いや力いっぱい表現する姿、努力し続ける姿、この姿が基盤であることを忘れずに新しい教育の形についてさらに職員で検討を重ねながら探っていきたいと思っております。

引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



オンラインで専門家から話をうかがう様子